

青梅で自転車教室

中学生に安全運転指導



指導を受けながら丸太が並んだコースを走行する生徒

青梅市立第七中学校（生徒数48人）で7日、自転車安全教室が開かれ、日本マウンテンバイク協会のインストラクターらが自転車の安全な乗り方を指導した。

同協会は自転車産業振興協会と連携して「自転車キッズ検定」を実施しており、体育館に一本橋や丸太を置いたコースを準備。生徒た

ちは実際に自転車でコースを走り、「衝撃は体で吸収」などのアドバイスを受けた。自転車通学をする2年生男子は「教えてもらったことを生かしていきたい」と話していた。

同中は市北部にあり、校区が広く、かつてはほとんどの生徒が自転車通学だったが、生徒数の減少により、現在は自転車通学は15人。